

地域学科 人間形成コース

募集予定

4人



わたしの
総合型選抜

障がいのある弟と共に成長した日々を活かせる未来へ

「人の役に立てる仕事がしたい」。障がいのある弟がおり、いつしかそう願うようになった私。高1の冬、3年の先輩が「鳥大で特別支援学校の教員を目指したい」と話すのを聞き、ハッとしました。「弟と過ごしてきた日々を活かすことができる」と感じ、同じ目標を決意。それからは勉強も部活動もより一層真剣に取り組みました。

願書を作成するときは、大学のパンフレットやWebサイトで情報収集。特に地域学科の資料は、当年のものだけでなく過去の資料もできるだけ集め、何度も出てくる言葉に注目。そこには大学が求めているものが込められているはずだと思い、そのキーワードを盛り込んで書きました。

小論文は書く力だけでなく、“読解力”も鍛えよう

1次面接では、表情がよく見えるよう前髪を上げ、笑顔を絶やさないと意識。和やかな雰囲気を楽しかったけど、最後に「あと少し時間があるので、言いたいことがあれば」と促されて焦りました！一言でアピールできるよう準備しましょう。

私は英語が苦手だったので、2次の小論文に出てくる英文翻訳対策には時間をかけました。論文を書く力は練習を繰り返すたび上がったけど、読解力が弱く、論点がずれていることが多くて。出題文に込められた意図を捉える力も大事なんですね。

失敗したと思っていたので、合格を伝えられたときはビックリ。今年はまだ4年生。教員免許取得に向けて教育実習やボランティア活動に励んでいます！

4年

たむら なお
田村 菜緒さん

(兵庫県立千種高等学校 出身)

MY
FAVORITE
"TOTTORI"

サクサクの天ぷらで頂く日本海の幸

自転車で行ける距離にある鳥取港には、リーズナブルな海鮮料理店が。私が好きなのは「白身魚の天ぷら」。定食で頼めばお刺身付きに。1度で2度美味しいんですよ！

全文は
Webで!



第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2023年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2024年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して
求める力

地域教育のキーパーソンをめざすために必要な、確かな基礎学力、柔軟で創造的な思考力と表現力、他者と協働して問題解決する力を求めます。

小論文	小論文は2つの設問で構成しました。設問1では、海外における野外教育に関する英文を出題文としました。文章のなかの下線部を和訳する力をみる1問と、内容を要約する力をみる1問を課しました。設問2では、ある書店員による、ジェンダーに関する問題意識に関する日本語の文章を出題し、内容を適切に読み取れているかを問う1問と、自身のこれからの学びに対する問題意識を問う1問を出しました。
口頭発表	口頭発表では、準備時間を合わせて一人20分程度、小論文の設問2の後半の問題に基づき、自身の問題意識がこれから学ぶ地域教育とどのように関わっているかを問いました。
グループ ディスカッション	ヤングケアラーや不登校、障がい児教育に関連した資料をもとに、地域において子ども達の学びをどのように支えていったら良いかについて2グループに分かれて話し合いました。その後、各グループで意見をまとめたことを発表し、グループ間で質疑応答を行いました。試験時間は90分でした。
個人面接	4名の面接官による、1人あたり20分の面接を行いました。志望理由やこれまで注力してきたこと、将来展望について尋ねました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性
2次(小論文)	○	○	○	
2次(口頭発表)		○	○	○
2次(グループディスカッション)		○	○	○
2次(個人面接)	○	○	○	○